

# 公共事業再評価調書

整理番号 H15 - 14

担当部課室名	農林水産部 農村整備課	電話番号	017 - 734 - 9555
		E-MAIL	NOSONSEIBIKA@ags.pref.aomori.jp

再評価実施要件	未着工	長期継続 ( 5年 )	再評価後 ( 年 )	その他 ( )
---------	-----	-------------	------------	---------

## 1 事業概要

事業種別	農業農村整備事業		事業主体	県 市町村 その他( )			
事業名	県営中山間地域総合整備事業		地区名等	日本中央	市町村名	野辺地町、東北町、天間林村	
事業方法	国庫補助 県単独		財源・負担区分	国55%	県32.5,27.5%	市町村12.5,17.5%	その他
採択年度	H10年度 (用地着手 10年度 / 工事着手 10年度)						
終了予定年度	H17年度 ( 14年3月計画変更 当初計画時 17年度 )						
事業目的	野菜産地としての本地域の農業を今後とも維持・発展させるため、農業生産基盤と農村生活環境の整備を総合的に行ない、農業生産性の向上と農村生活環境の改善を図る。						
主な内容	水路工 17,042m、道路工 16,382m、農村公園 1箇所、多目的広場 1箇所						
事業費	採択時総事業費		4,125 百万円		計画変更総事業費		4,317 百万円 (単位:百万円)
		～12年度	13年度	14年度	15年度	小計	16年度～ 合計
	計画 (うち用地費)	1,720 (132)	507 (21)	710 (49)	520 (13)	3,457 (215)	860 (38) 4,317 (253)
	実績 (うち用地費)	1,720 (132)	507 (21)	710 (49)	520 (13)	3,457 (215)	860 (38) 4,317 (253)

## 2 評価指標及び項目別評価

### (1) 事業の進捗状況

(A) ・ B ・ C

事業の進捗状況	事業費割合 (うち用地費)		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗		
			80.1% [ / ]	100% [ / ]		
			( 85.0% ) [ / ]	( 100% ) [ / ]		
	主要工程種毎割合 (事業費)	水路工 (1,821百万円)	延長割合	87.8%	延長割合	100%
		道路工 (2,286百万円)	延長割合	79.1%	延長割合	100%
農村公園 (112百万円)			21.1%		100%	
多目的広場 (98百万円)			96.2%		100%	
説明	計画どおり進捗している。					
問題点・解決見込み	-					
事業効果発現状況	水路や道路については、工事の完了した区間で供用を開始しており、既に所期の事業効果が発現されている。					

### (2) 社会経済情勢の変化

(A) ・ B ・ C

社会的評価	全国・本県における評価	(全国の評価) 農業の生産条件等が不利な中山間地域において、農業・農村の活性化並びに地域における定住の促進が求められていることから、本事業により農業生産基盤及び生活環境の整備を総合的に行う必要がある。	(県内の評価) 本県農業は県経済を支える基幹産業であることから、農業・農村の活性化並びに地域における定住の促進が求められており、本事業により農業生産基盤及び生活環境の整備を総合的に行う必要がある。
	当地区における評価	本地域は、県内有数の野菜産地(にんにく、ながいも)となっているが、農地内の耕作道及び集落内の道路は幅員が狭く未整備で大型農業機械の通行に支障を来しているほか、荷傷みによる品質の低下が見られるため、早期の整備が必要となっている。また、白鳥観察や住民の憩いの場として、農村公園等の整備も必要となっている。	
必要性	東北町・天間林村は県内でも有数の畑作地帯を形成しており、基幹的土地改良施設や平場のほ場の整備は進んでいるものの、中山間地域については依然として整備水準が低く、農業生産の妨げとなっている。また、野辺地町は交通の要衝であるとともに、夏場の海水浴や冬場のスキー場など本地域の都市との交流拠点として位置付けられていることから、本事業による畑作振興と都市との交流活動の強化を図る必要がある。		(a) ・ b
適時性	野辺地町・東北町・天間林村は、中北部上北広域営農団地に属し、基幹的農道である北部上北広域農道のほか、各種農業関連施設が整備されているので、本事業により、消費者に安定的に農作物を供給できる産地が形成され、農業を中心とした地域全体の活性化が図られる。		(a) ・ b
地元の推進体制等	受益者の同意率は、農業用排水 95.3%(403/423人)、農道 98.6%(353/358人)となっている。事業採択前に3町村による日本中央地区中山間地域総合整備事業推進協議会が設立され、農業経営の安定化と快適な農村生活環境整備を推進するための体制が整っている。農村公園の維持管理については、天間林村と関係町内会が管理委託契約を締結し、管理運営に係る経費は全て関係町内会で負担することで合意している。		(a) ・ b
効率性	本事業の実施に当たっては、関係町村が自ら地域住民の意向を十分反映し、それぞれの地域特性を生かした農業の振興、農村の整備と活性化に関する構想を策定し事業の実施に当たっていることから、地域の活性化が期待できる。		

## (3) 費用対効果分析の要因変化

(A) ・ B ・ C

区分	主な項目	計画時	再評価時	増減
費用項目 (C)	(1) 農業用排水施設整備事業	1,229 百万円	1,229 百万円	0 百万円
	(2) 農道整備事業	1,727 百万円	1,727 百万円	0 百万円
	(3)	百万円	百万円	0 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総費用	2,956 百万円	2,956 百万円	0 百万円
便益項目 (B)	(1) 農業生産向上効果	1,671 百万円	1,671 百万円	0 百万円
	(2) 農業経営向上効果	1,048 百万円	1,048 百万円	0 百万円
	(3) 生産基盤保全効果	368 百万円	368 百万円	0 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総便益	3,087 百万円	3,087 百万円	0 百万円
B / C		1.04	1.04	
【費用対効果分析手法】 農林水産省構造改善局長通達（土地改良事業における経済効果の測定方法） 【費用対効果分析における特記事項】 土地改良法による農業生産基盤に係わるものについて B / C を算定している。				

## (4) コスト縮減・代替案の検討状況

(A) ・ B ・ C

コスト縮減	【コスト縮減の検討状況】 水路基礎砕石、道路路盤及び舗装材に再生材を使用するほか、J R 横断暗渠の改修について、推進工法からオールライナー工法に変更してコスト縮減を図った。	(a) ・ b
代替案	【代替案の検討状況】 本事業の実施に当たっては、関係町村が地域住民の意向を反映しながら、地域の現状を分析し、望ましい将来像の実現を目指す地域活性化構想を策定し、これに基づき整備を行っているため、妥当である。	(a) ・ b

## (5) 評価に当たり特に考慮すべき点

(A) ・ B ・ C

住民ニーズの把握状況	【住民ニーズの把握方法】 農業生産基盤に係る工種の同意率は、農業用排水 95.3%(403/423人)、農道 98.6%(353/358人)となっている。また、工事期間中においても受益者及び地元関係者への説明会の開催や広報誌へ掲載する等、住民ニーズの把握に努めている。	【住民ニーズ・意見】 本地域では、畑作農業の振興により大型農業機械の導入が図られているため、農道及び農業集落道の幅員の拡大についての要望が強かった。	(a) ・ b
環境影響への配慮	【地域別環境配慮指針への適合性】 (1) 地域区分 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">k1b, k4c, k4d, k4e, k4a</span> (2) 対応状況 配慮している 配慮していない 【特記事項】 切土面及び盛土面には張芝等を実施し、法面の安定とともに緑化による周辺との調和を図っている。	【開発事業等における環境配慮指針への対応】 配慮している 配慮していない	(a) ・ b
地域の立地特性	野辺地町 - 半島振興法 東北町 - 半島振興法 天間林村 - 過疎地域自立促進特別措置法		

## 3 対応方針

総合評価	継続	計画変更	中止	休止（林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る）
評価理由	本事業は、地域農業の振興や農村の生活環境の整備など、地域に果たす役割が大きいことから、平成17年度の完了を目指し、継続して実施する。			
備考				

## 4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針(案)どおり	対応方針(案)を修正すべき		
委員会評価	継続	計画変更	中止	休止（林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る）
附帯意見				
評価理由				